

事業計画書

事業名	『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用
実施場所	主に沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

障害を抱える子供たちの卒業後の人生を考え、将来の「しごと」「居場所」を創る事業として、子ども達の能力を引き出すプレジョブや創作活動を行います。また、子ども達の一番身近な存在である母親が研修を重ね、各種スキルを持つ支援者となります。事業を通じて親子でまちづくりに参加し、ノーマライズなコミュニティを広げていきます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

1. 社会背景やきっかけ

障害を抱える子ども達が増える一方で、個々に合った居場所（施設・就労先等）が圧倒的に少ない状況です。母親達は学校を卒業した後の子ども達の人生に不安を感じています。どこにも相談できず自分ひとりで悩みを抱えている母親も多く、また受け入れる側の社会においても、まだまだ閉鎖的な環境が見受けられます。

2. 課題解決のために必要だと考えること

障害を抱える子どもの子育て環境は、周囲の理解や支援の体制によって大きく変わります。より良い環境にするためには、どのような障害があつて何に困っているのか、障害によりどのような特性があるのか…など、まずは関心を持ってもらうことが大切です。

3. 課題解決のため、事業で取り組むこと

- (1) 音楽や芸術などを通じて、障害に対する理解が広がる場をつくります。
- (2) 悩みを抱える母親達が、これまでの苦悩や努力、成功体験などを認め合い、少しでも前向きな気持ちになるようなコミュニティをつくります。
- (3) 母たちはコミュニティ内でスキルや情報を共有し、お互いに高め合い、スキルアップします。母たちは障害を抱える子供たちの将来の可能性を見出し、「自分らしさ」「やりがい」「愛」を感じながら過ごせるよう・働けるように支援します。
- (4) 親子が安心できる支援体制や環境づくりを目指し、社会・まちづくりの活動に参画します。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
<p>毎月第2水曜日</p> <p>通年</p>	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>1.【障害者のしごとを考えるミーティング】</p> <p>(目的)</p> <p>(1) 事業推進にあたり必要な事項について話し合い、決定する</p> <p>(2) 母たちの情報交換や憩いの場づくり</p> <p>(対象)</p> <p>母の会メンバー・他 外部専門家など 10~15名程</p> <p>(内容)</p> <p>(1) 千本プラザ・サンウェルぬまづ・レンタルミーティングルームなどの会場をお借りして、事業計画・活動報告・意見交換会・スキルアップ研修・勉強会等を行う</p> <p>2.【スキルアップ研修】</p> <p>(目的)</p> <p>(1) メンバーそれぞれが得意とする分野を学び、スキルアップする</p> <p>(2) スキルを共有することで、会全体の総合的な知識を高める</p> <p>(3) 子供たちの可能性を見出し、個々の特性と作業をマッチングできる力を身につける</p> <p>(4) スキルアップ研修を通じて関係する他団体と連携・協力し、活動範囲を拡大していく</p> <p>(対象)</p> <p>障害を抱える子どもの保護者</p> <p>(内容)</p> <p>(1) 障害者雇用を促進する分野(ジョブコーチなど)</p> <p>(2) キットパスアートインストラクター/チョークアート</p> <p>(3) パソコン・情報処理など</p> <p>(4) コーチング・心理学など</p> <p>(5) その他各種勉強会・研修・ワークショップなどに参加</p> <p>(6) 各地の障害者施設・事業所・工場などの見学や勉強会</p>
<p>通年</p>	<p>3.【障害を抱える子ども達の作品を基にイベント告知・啓発類を制作】 (デザイン講習)</p> <p>(目的)</p> <p>(1) デザイン性の高い作品にさらに付加価値を付け 社会に出す事で、彼らの才能や特性の周知の機会をつくる</p> <p>(2) 後の仕事に繋がるようなサポート体制を学ぶ</p> <p>(対象)</p> <p>母の会メンバー他</p>

通年	<p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) イラストレーターやフォトショップを購入し、グラフィックデザイナーに勉強会を依頼 (5~8 回ほど) (2) 子ども達の作品を基に、自主イベントのポスター・チラシ等のデザイン・入稿までを実践で学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ① 『心のままアート展 2019』のポスター・チラシ制作 ② 自主イベントなどのポスター・チラシ制作は随時 ③ その他依頼を受け、実践・勉強させていただく
通年	<p>4. 【子ども達の創作活動・創作意欲に繋がる場を創る】</p> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 様々な体験から、個々に合った作業などを発見・発掘する (2) 視覚・聴覚・嗅覚・触覚など心地の良いものに触れることで、創作能力を高める (3) 内に秘めた想像力や空間認知能力を発揮させる (4) より良い創作活動に欠かせない余暇の時間を充実させる <p>(対象)</p> <p>障害を抱える子ども達と保護者や支援者</p> <p>(内容)</p> <p>・陶芸・書道・絵画・造形・音楽・アロマ・LEGO など</p>
通年	<p>5. 【プレジョブ】</p> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 経験のない仕事や、興味を持てる作業に触れる (2) プレジョブの連携先を広げ、実際の就労に繋げていく <p>(対象)</p> <p>障害を抱える子ども達と保護者や支援者</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 商品や飲食物の販売・接客 (2) ものづくり (各地のワークショップなどにも参加) (3) 農作業・料理・手芸・IT・清掃等 (作業を細分化し特化する) <p>6. 【地域に密着した親子参加型の取り組み】</p> <p>(目的)</p> <p>障害を抱える子ども達の顔や行動を、地域の方々の記憶に留めてもらい、防災や社会参加に役立てる</p> <p>(対象)</p> <p>地域の方々、障害を抱える子ども達と保護者や支援者</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 防災について考える <ul style="list-style-type: none"> ① 専門家を招いた勉強会 ② 知的・身体・視覚・聴覚障害者の現実や、困りごと、身の回りの備えなど意見交換

③ゲーム感覚（HAGなど）で意識を高める

(2) 地域の清掃活動などに参加

- ①親子で清掃活動に参加する事で、地域の方に障害を抱える子どもたちを身近に感じてもらう。
- ②子ども達にも、町を綺麗にすることは気持ちの良い事、「人の役に立つ事、必要とされる喜び」を感じてもらう。

(3) 地産地消・食育の推進

- ①地域で生産される農産物などを知る
- ②収穫体験などを通して、子ども達と共に地域の特性を活かした食生活を見直し、食育を推進・健康の増進を図る

(4) キットパス(※)ワークショップ開催と普及

- ・障害者雇用を始めて60年目、従業員の7割が障害者である会社の理念『働く幸せ』に賛同し、キットパスを使用したワークショップやイベントを開催。子供たちとお絵描きを楽しみながらノーマライゼーションに触れ、思いやりの心や社会性を育むなど、インストラクターとしての役割を果たす。キットパスを通じて、障害者雇用の推進・支援活動が続ける。

※「日本理化学工業株式会社」の製品
環境に優しく安全な『水溶性チョーク』

9/11～9/18

7. 【心のままアート展 2019】開催(自主イベント、沼津市の後援実績あり)

(目的)

- (1) アートを通じて、障害を抱える子ども達を身近に感じてもらう
- (2) 子ども達の将来の「しごと」や「やりがい」に繋げる
- (3) 地域社会、学校・教育関係や企業に取り組みを知ってもらう

(対象)

すべての人

(内容)

- (1) 作品・啓発類の展示を中心に、将来のしごとに繋がるワークショップを期間中に開催。芸術に触れながら、障害について現実を知っていただき、身近に感じてもらう。
 - ①障害を抱える人の作品・ストーリー展示
特別支援学校の児童生徒・OB、外部絵画教室等
 - ②障害についての解説・啓発類の展示
書籍・ポスター・マンガ・アプリなど
 - ③ワークショップ
シルクスクリーン印刷 (2017年)
山の幸染め・キットパスでバッグ作り

・ハンドスタンプアート(2018年)

- (2) 現在支援学校等で学んでいる、就労に向けた作業実習
(木工班・陶芸班・紙加工班・染色縫製班・ビーズ班・農耕班・園芸班・クリーン班)の紹介をし、卒業後も習得した技術を活かせるように、指導者・技術者に関わってもらい、関係を築きながら、アート展を創り上げる。
- ① 『心のままアート展題字』(県立沼津西高校 書道部)
 - ② 『作品額装』額制作(やまぶき工藝社)・額装(いずみ画荘)
 - ③ 『作品撮影』(ミノリフォトワークス)

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

1. 【 障害理解 】

障害について関心を持って頂くイベントを通じて、ノーマライゼーションや誰もが暮らしやすい世の中への地域の方々の理解が深まる。

2. 【 コミュニティ構築 】

ノーマライゼーションの理解が進み、地域の中に障害者や支援者などの「居場所」ができる。

3. 【 知識・スキルの向上 】

母親のスキルアップにより知識・支援の質が向上し、同じ悩みを抱える母たちなどへのアドバイスがよりの確に行える。

4. 【 社会参画 】

障害を抱えていても、素晴らしい能力を発揮したり、真面目に作業をするなど、十分に働き手としての力があることを知ってもらうことで、障害者が社会に参加する機会が増加する。

5. 【 雇用創出 】

障害者の特性や能力を活かした作業が増え、将来の「しごと」につながる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 一般の方に障害理解を広めるために開催している『心のままアート展』や、他自主イベントの来場者数及びアンケート結果	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 2017年からのイベント来場者数の増加比率。アンケート内容。
------	---	-------------	---

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>2016年に『障害者差別解消法』が施行され、誰もが教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせておこなわれる「合理的配慮」が求められています。 「合理的配慮」の考え方は、より良い社会を築いていく上で、配慮をしてもらう側、する側の双方にとって重要なものだと考えています。私たちが行う事業により、「合理的配慮」への理解促進や実現につながっていきます。</p> <p>母たちは、より専門性の高い指導能力を身に付けつつ、障害を抱える子供たちとの関わりを重ねていきます。その中で、子どもたち個々の特性に応じた作業を見出し、得意分野に焦点を当てた働き手を育てます。 子どもたちとの関わりで培った経験に加え、ジョブコーチ研修を行うことで、「教え方を教える人」として、派遣先の職場と一緒に障害を抱える働き手の能力を引き出します。働き手の雇用環境が改善する事で、障害者雇用の拡大に繋がりが、社会全体の課題である働き手不足、社会保障費の問題解決にもつながります。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>障害を抱える子どもの保護者が頼れる機関が少なく、専門的な支援サービスが不足していることなど、不安の声は少なくありません。発達障害相談の受け皿として頼りであった静岡県発達障害者支援センターも2018年4月に沼津市から撤退してしまいました。</p> <p>また、障害者に対する地域への周知・理解が必要となりますが、そもそも地域間での交流が希薄になっているとも言われる現代です。皆で支え合う社会に回帰していく時期にあると考えています。 行政が全てを支えるのではなく、「出来る事を出来る時に出来る人が！」の考え方で、障害のあるなしに関わらず、地域住民が交流し、助け・支え合うコミュニティを私たちのできる範囲で実現していきます。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>2020年のパラリンピック開催に向けて、近隣市町もノーマライゼーションに力を入れています。より障害理解のある沼津市になるため、私たちの活動が少しでも役立てばと考えています。誰もが暮らしやすい優しいまち・何度も訪れたいまち「ノーマライゼーション先進都市ぬまづ」を目指し、取り組んでいきます。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。</p> <p>発達障害の特性の中には、一度習得した事はきっちりとやる、という優れた働き手の素質があります。プレジョブなどを通して子ども達の働く姿を広く知って頂き、卒業後も社会で必要とされる人として、継続支援を行っていきます。ここで構築した働き手を生み出す枠組みは、私たち母子の世代だけでなく、次世代の母子たちにも引き継いでいきます。</p> <p>本事業は5年以内を目途に法人化を目指しています。子ども達の将来のためだけでなく、保護者である母親たちもやりがいや幸せを感じられる事業となるよう、継続して取り組んでいきます。</p>

<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>2017年と2018年に開催した『心のままアート展』は、来場者や支援者が大きく増加しました。子ども達の将来のしごとに関わる多くのつながりが生まれ、また、地域に密着した関係性を築けています。2018年のアート展以降も、多くの企業・団体・個人とのつながりは広がっています。</p> <p>最終的に「しごと」「居場所」を創っていくためには事業資金はもちろん、人間関係及び信頼関係が重要となるため、今後つながりを大切に活動を持続します。また、イベント時の効果的な発信・周知に努め、活動の幅を広げていきます。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>障害を抱える子どもの子育ては、成長の喜びや幸福の中にも、自責や悲観・先が見えない不安など、私たちは言葉では伝えきれないほど多くの感情が溢れる日々を過ごしてきました。</p> <p>社会とのつながりが弱かった私たちでしたが、子ども達が学校などで集団生活を送るようになり、自然と同じ想いを抱える仲間との出逢いに恵まれました。それも子ども達が繋げてくれた縁です。</p> <p>私たちのコミュニティは、同じような苦悩や経験、感情を分かち合うことで、絆が深まり、信頼関係が生まれました。そして、素晴らしい仲間や今まで知り得なかった世界観を与えてくれた子ども達に感謝しています。</p> <p>積み重ねた小さな試みが、いつか大きな力になることを信じて、母たちも今を楽しみながら子ども達の将来に関わる活動に参加していき、いつの間にか周りの環境がより良くなっている未来を目指します。</p> <p>最後に、活動の原動力の源である子ども達に、生まれてきてくれてありがとうと伝えたいです。</p> <p>私たちは、『障害のある人もない人も 等しく生きることができる社会』を心から願い、笑顔で活動を続けて参ります。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>今年度実施する取り組みの、対象者の拡大、対象区域の拡大を予定しています。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>スタートアップ事業では、団体でスキルアップを目指し、チームワークの良いコミュニティを構築してきました。今回のステップアップ事業では、前年の活動を基盤にし、子ども達の得意な作業に幅広く対応できるよう、母たちも個々に合ったスキルを磨くことにより、さらにスキルアップした支援者になることを目指します。また、地域での活躍の場を広げられるように事業を進めていきます。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
